
花や緑を“コミュニケーションツール”として 人と人をつなげる

チームA：一日一花（いちにちいっか）

メンバー



福島大学人文社会学行政政策学類（4年生）

鈴木 悠平（チームリーダー）



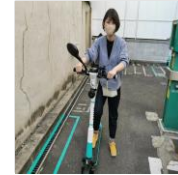
株式会社みちのく仙台FC

塚田 蒼



東北学院大学教養学部地域構想学科（3年生）

工藤 佑羽



学校法人 河合塾

勝又 理紗



宮城学院女子大学現代ビジネス学部（3年生）

門間 由芽奈



株式会社ファームノート

鎌田 直也



東北学院大学教養学部地域構想学科（1年生）

外下 和奈



株式会社プロトソリューション

高橋 海渡

メンター

一般社団法人ONE TOHOKU HUB **伊藤 愛発**

目次

1. フィールドワーク内容
ワークショップ・ヒアリング調査
2. 私たちのゴール
3. 事例研究
4. アクションプラン
5. まとめ

1. フィールドワーク内容

観光・旅行
カフェ
食べ歩き
料理
居酒屋

子ども・育児
震災
防災教育
ハラル対応
多様性

交通
公園利用
移住定住
コミュニティづくり
商店街の活性化

第1回ワークショップ 興味があること

スポーツ
音楽
イベント
温泉
サウナ

自然
農業
ドローンによる空撮
Web制作
デジタルミュージアム
NFT

杜の都や自然、イベントに興味があることから
「自然・環境」をテーマに

ヒアリング調査①

仙台市都市整備局都心まちづくり課

- 都心まちづくり課の取り組み
 - アエルやシリウスなど再整備の推進
 - 公園をフィールドとした市民活動の支援**
- 仙台駅付近、ペDESTリアンデッキに人が集中する
 - 仙台市内各所への「人の流れ」**をつくれるかどうか
- まちづくりと緑のバランス
 - 緑を活用したイベント、災害時の一時避難場所として活用**

第2回ワークショップ

○仙台市都心まちづくり課をヒアリングの共有

→若者がまちづくりに参画していく

青葉通りのイメージを変えたい

老若男女が活用でき、かつ「楽しめる」空間の創造

○グループとしての活動

「花降る街、仙台」と連携、緑化フェアや青葉通駅前エリア

社会実験などフィールドワークを行っていく

『花降る街、仙台』とは

- 仙台市内のフラワーショップ・フローリストが集結、
仙台市民に花の魅力・楽しさを届け、若年層に対して
花のある生活を提案
- 仙台市をさらに楽しく豊かな街にしていく
花と触れ合うイベントを定期的に行っている
→**誰でも立ち寄り、参加できる印象**

ヒアリング調査②

花降る街、仙台

○若者へのアプローチ

「仙台」という街での思い出にひとつに

→仙台に戻ってくるきっかけづくり

○どのようにお花を絡めていくか

→公共施設や交通機関、カフェなどで魅力の発信

商店街やアーティストとタイアップ、コラボレーション

「四季によって変わる花の色」と「イベント」の融合

ウェルカムガーデンづくり 仙台駅西口ペデストリアンデッキ花壇

- 第40回全国都市緑化フェアに向けたイベント**
仙台市建設局全国都市緑化フェア推進室が主催
10月30日8：00～10：00に開催
- 多くの市民や家族連れで賑わった
→**杜の都・仙台の玄関を市民の手で彩る**
仙台を訪れる方々を花とみどりでおもてなし

第3回ワークショップ
事例研究の共有

① 「花と水の京都」

○京都府京都市、長岡京市などにある**7社寺がメイン**

○**神社・お寺が中心 = 異空間の創造**

○『雨の日にあえて行きたくなるような、
暑い夏の日にあえて行きたくなるような、』

→雨・水がキーワード

花手水（はなちょうず）や花玉手水

レインアート



写真 花手水「花と水の京都」 そうだ京都、行こう。

<https://souda-kyoto.jp/other/hanatomizu/>

② 「花と緑のまちづくりフェア」

○東京都八王子市

○**ジャズのミニコンサート、ストリートパフォーマンス**

→花と音楽で街が演出される

○**五感で感じられる、街全体を巻き込こんだイベントへ**

→定禅寺ストリートジャズフェス、とっておきの音楽祭

とのコラボできたらおもしろい！

はちなび 八王子のグルメ・観光スポット検索サイト

<https://hachi-navi.com/user/8571192/blog/0022>

花と緑のまちづくりフェア 旅ぐるたび

https://gurutabi.gnavi.co.jp/i/i_55715/

第4回ワークショップ

定義まつりでの企画案

- ・ **「お寺 = 茶色」のイメージ**
→ お花ロードやフォトスポット、住職の服装を華やかに
- ・ **子どもと参加できるワークショップの開催**
かんむり、ハーバリウム、香水づくりなど
- ・ **来訪者の満足度を高めるしくみ**
桜の苗木を購入 → 「桜の木のオーナー」になれる
- ・ **地域住民と来訪者とのつながりづくり**
→ 火鉢サロンを開設、お茶を振る舞う

2. 私たちのアクションプラン

大倉地域との連携

大倉地域の皆さんから

若者と何か連携したい！とご相談をいただきました

定義如来西方寺 ほっこり話 【2022/11/1】じわっと
伝わるあたたかさ

<https://jogi.jp/hokkori/202211/>

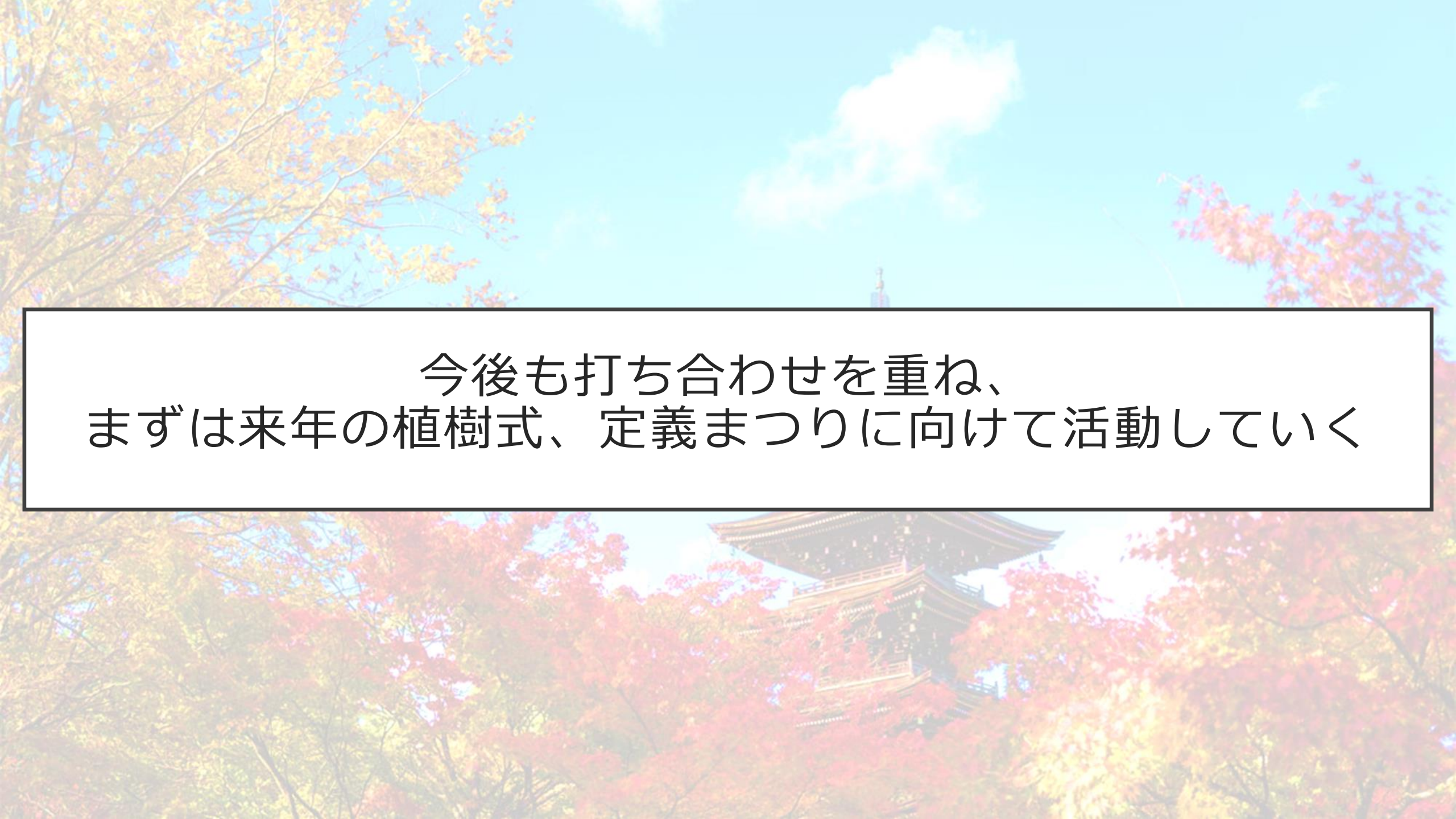
定義イベントミーティング

○内容

- ・大倉地域は若者が少なく、人手不足が課題
- ・第4回WSで出た花をテーマにした企画を提案
- ・大倉地域の方も観光客との交流に前向き

○これからの活動

- ・4月8日に桜の植樹式
- ・5月のGWに定義まつり、大倉ダムで鯉のぼりを上げる

The background features a scenic view of autumn foliage in shades of yellow, orange, and red. In the center, a traditional Japanese building with a dark, multi-tiered roof is partially visible through the trees. The sky is a clear, bright blue with a few wispy white clouds. A white rectangular box with a black border is centered over the image, containing the text.

今後も打ち合わせを重ね、
まずは来年の植樹式、定義まつりに向けて活動していく

「杜の都」「緑化フェア」…花や緑を仙台市の“景観”として捉えていた

仙台まちづくりラボのワークショップやフィールドワークを通して

花や緑を“コミュニケーションツール”として捉えるようになり

人と人をつなげられる可能性を感じた




具体的なアクションとして、定義まつりをフィールドに

花や緑で人と人をつなげることを体現する

①地域に非日常を作り出す、②「花×〇〇」でエンタメ性を創出する、③人が交流しつながらしくみを創造する

- ・ **花や緑があって「なんとなく綺麗で癒されていいよね」で終わらせない**
- ・ **花や緑を通じて具体的なコミュニケーションが生まれる事実をつくり出す**
- ・ **一過性の活動ではなく、継続的な活動をしていく**



ご清聴ありがとうございました